2026年11月11日

各　　位

会　社　名　福山通運株式会社
代表者名　代表取締役　社長執行役員　熊野　弘幸
（コード番号 9075 東証プライム市場）
問合せ先　執行役員　経理財務統括部長　佐藤　義宏
（TEL　084－924－2000）

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2026年５月14日に公表いたしました2027年３月期第２四半期(中間期)の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2027年３月期の通期業績予想を修正しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	163,200	5,700	6,200	5,500	155.31
今回実績（B）	166,124	7,835	7,992	7,037	199.70
増減額（B－A）	2,924	2,135	1,792	1,537	
増減率（%）	1.8	37.5	28.9	28.0	
（参考）前期連結実績（2026年３月期第２四半期）	153,573	3,612	4,463	3,042	80.87

２．差異の理由

売上高につきましては、主に、運送事業において、中東情勢悪化を背景に、ナフサ不足を見越した在庫確保や前倒し出荷等の動きが増加したことなどから、貨物輸送量が想定を1.2%上回り、堅調に推移いたしました。また、国際事業においても、海外子会社の取扱件数が想定を上回ったことに加え、為替変動の影響もあり、業績予想を上回りました。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、売上高の増加に加え、輸送効率の向上に取り組み、貨物輸送量の増加に伴う外注費等の追加コストを抑制したことなどにより、いずれも業績予想を大幅に上回りました。

３．2027年３月期通期連結業績予想の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（Ａ）	334,600	12,500	13,700	17,000	479.58
今回修正予想（Ｂ）	340,700	14,800	15,200	17,700	502.23
増減額（Ｂ－Ａ）	6,100	2,300	1,500	700	
増減率（％）	1.8	18.4	10.9	4.1	
（参考）前期連結実績（２０２６年３月期）	318,582	9,347	11,475	13,696	369.50

４．修正の理由

下半期（2026年10月１日～2027年３月31日）の売上高につきましては、貸切事業が当初想定を下回る見込みになりましたが、新規連結による流通加工事業の売上高の増加を織り込んだことに加え、国際事業においても、取扱件数の増加と為替変動の影響を見込み、上方修正を行いました。一方で、下半期の営業利益につきましては、売上高の上方修正に伴う変動費の増加のほか、人員推移が想定を下回っていることに伴う外注費の見直しや燃料油価格激変緩和補助金の段階的な縮小による影響を織り込み、当初想定と同水準の見込みとなりました。

以上により、当中間期の差異を含め、売上高につきましては61億円、営業利益につきましては23億円、それぞれ上方修正を行いました。

なお、下半期の営業外損益及び特別損益につきまして、当初想定を下回る見込みとなりましたが、当中間期の差異を含め、経常利益につきましては15億円、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては７億円、それぞれ上方修正を行いました。

（注）上記業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上